

上水道における
有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)の検査結果



令和5年2月1日
郡山市上下水道局
浄水課水質管理室
室長 佐藤 敦

ターゲット 6.1 TEL: 932-7646

SDGs ターゲット6.1 2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。

水道水に含まれる有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)については、令和2年3月30日付の厚生労働省の通知により、水質管理目標設定項目に加えられ、暫定的な目標値は1リットル当たり50ナノグラムとなっております。

これに基づき、本市でも令和2年度から当該物質の検査を各浄水場の原水と浄水で実施しておりますが、結果はいずれも検出限界値である1リットル当たり5ナノグラムを下回っております。

「PFOS 及び PFOA」水質検査結果

【単位：ng/L】

	浄水場名	採水検体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	暫定目標値
水道原水	堀口	猪苗代湖原水(浜路)	5未満	5未満	5未満	50以下
		猪苗代湖原水(上戸)	5未満	5未満	5未満	
		逢瀬川原水	5未満	5未満	5未満	
	熱海	深沢川原水	5未満	5未満	5未満	
	荒井	三春ダム原水	5未満	5未満	5未満	
浄水	堀口	堀口浄水場浄水	5未満	5未満	5未満	
	熱海	熱海浄水場浄水	5未満	5未満	5未満	
	荒井	荒井浄水場浄水	5未満	5未満	5未満	

※「ナノグラム(ng)」は10億分の1グラム

※ 検査結果はPFOS 及び PFOA の合計値

※ 水道原水とは水源の水を浄水場内に引き込んだ水のこと、各浄水場内で採水している。
浄水とは浄水場にて浄水処理をした水のこと、各浄水場内で採水している。

<PFOS 及び PFOA>

PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)の略。

当該物質は、有機フッ素化合物の代表的な物質で泡消火剤等に含まれており、自然界で分解されにくく、高い残留性がある。

厚生労働省は、令和2年4月、PFOS、PFOAを水質管理上、特に留意すべき項目である水質管理目標設定項目として位置づけ、暫定目標値をPFOS及びPFOAの合算値として50ng/Lとした。